

共同研究開発事業報告書

1 事業名称

TOMAS-AS 「TOMAS アフターサービス版」事業 推進共同体

2 実施期間

令和 2年 8月 1日 から 令和 3年 3月 18日

3 実施場所

大阪府吹田市豊津町 13-45 第三暁ビル 7F (株式会社ジェイ・ビー・クラフト 社内)

4 連携した大学、研究機関等の名称(産学連携の場合)又は団体の構成員の名称(企業間連携の場合)

ベルモントコミュニケーションズ株式会社

5 事業の経過及び内容

- ① 令和2年8月1日よりアフターサービス版の開発を進めている。
TOMAS サービスの最適化エンジン、スケジューラ、スマホの各エンジンに対するアフターサービス版対応に関するカスタマイズ作業は予定通り3月初旬に完了。

6 事業の成果

- ① 令和3年1月よりベルモントコミュニケーションズ社にモニター導入を実施している。
現在、令和3年3月末までの予定で、実業務面での問題・課題の洗い出しと対応策の検討を進めている。既に当初想定していなかった課題もいくつか報告されており、4月以降にベルモントコミュニケーションズ社の課題対応を進める予定。
- ② TOMAS 専用のWEBサイト(<https://tomas-car.com/>)を2021年2月に完成。
当サイト内にてアフターサービス版TOMASの紹介を開始した。
<https://tomas-car.com/mainte/>
- ③ アフターサービス業界向け見込み客データベース(6,000社)を作成し、2021年2月より試験的にアフターサービス企業向けにメールでの案内及び電話営業を実施している。

7 今後の展望

アフターサービスを実施している企業は多く存在しているが、企業の一部門としてアフターサービスを実施しているケースが多く、電話営業でキーマンに繋いで頂くことが困難であることが明確になって来ている。

今後、営業先企業の絞り込み、有効なアプローチ方法について検討を進めてゆく。
またセミナーの開催など、新たな営業スタイルも検討してゆく。

8 今後、産学連携や企業間連携により事業を実施する事業者への助言等

産学連携や企業間連携により多くの企業にとって有益なサービスを開発した後、当該サービスを知って頂き、活用頂く為の活動が不可欠です。

開発当初からWEBを用いた告知や営業方法、営業体制なども見据えて準備を進めてゆくことが大事かと思えます。

<ご注意>

本報告書は、補助金交付後、吹田市のホームページ上で公開します。

広く市民の方が読まれることを想定し、できるだけ理解しやすい説明となるよう配慮して御記入ください。